

ジーネット(J・I・N)の皆さん

夢

追

い

人



顧客ニーズに
対応できることが
求められる

(株)酒見椅子店
酒見 宣克さん



各自の個性や
能力を活かして

(株)長
長 茂行さん



消費者や環境に優しい
製品づくりに
取り組みつづけたい

(有)寿家具大川製作所
辻 政廣さん



時代に応じた
販売形態も
検討していく
必要がある

(株)馬場木工
馬場 末広さん

近年、大川の家具業界でグループ化、共同化が一つのトレンドになってきたが、今回取り上げるのは、昨年八月に発足して間もないフレッシュなグループ「ジーネット(J・I・N)」。

昨年の大川木工まつり以降、各種展示会で統一感があり、明るい色調のトータルインテリア家具(ファーストシリーズ)を発表し、好評を得ている。構成メンバーは、(有)寿家具大川製作所、(株)馬場木工、(株)酒見椅子店、(株)長の四社。

ところで、ジーネットは、どんな経緯でグループを組むことになったのだろうか。

会長の辻政廣さん(有)寿家具大川製作所社長)はこう説明する。「実は、それぞれのメンバーは、元々親しい関係というわけではなかったんです。」

「どういうことだろうか。」昨年の七月頃、大川家具工業会主宰で、デザイン会社「ゼロファースト」と仕事を組む企業が公募されたのですが、たまたま応募してきたのが四社だったわけです。それがきっかけになりました。「こうして八月に発足した。」



ファーストシリーズ

ジーネットが生み出す製品
 の特色は何だろうか。馬場末広
 社長(株)馬場木工は「高く評
 価していただいているところ
 は、統一性です。各部分の色調、
 デザイン、素材の調和でしょ
 うか。」という。素材も塗装も四社
 一緒。そして、興味深いことに
 使う刃物も全く一緒だそうだ。
 徹底している。これで、面形状
 の質感が同じになるぞうだ。単
 品の集まりではない。「これが、
 十社、十二社となると、なかな
 かこれがうまくいきませんが、
 うちは少数制のメリットを生か
 せていると思います。」とい
 う。まさに「トータル家具を実現
 している。」

ジーネットの別の特色は、何
 だろうか。酒見宣克さん(株)
 酒見椅子店社長)は、オーダー
 メイド体制にあるという。「現
 在二十種類ほど基本パターン
 を持っていますが、顧客の望む
 サイズ、寸法、色に柔軟に合わ
 せることができます。あまり知
 られていませんが、今大川には
 特に椅子やソファアなどの面
 でオーダーメイドができる企
 業が入ってきています。でもこ
 れからは、地元でも顧客ニーズ

に自在に対応できることが求
 められるのではないでしょう
 か。」

長茂行さん(株)長専務)は
 こう指摘する。「明るい色彩も
 特長だと思います。人の心を励ま
 してくれるイメージを醸し出
 していると思いますね。快適な
 生活にふさわしい色遣いとい
 う面は、多くの顧客の方々から
 お褒めいただいている点です。」
 さて、ジーネットは今後はど
 ういう方向に向かうのだろう
 か。四人に伺った。

長さんは、「今後は統一性の中
 でより特徴を活かしあえる
 ように、各自の個性や能力をい
 つそう注入していきたいです
 ね。」と述べる。酒見さんも「私
 もそう思います。そのために仲
 間意識、絆を深めながら、切磋
 琢磨することが大事。」

そして、馬場さんは販売形態
 について、「インターネットを
 使った販売も検討していきたく
 と思います。ただトータル家
 具にはなじみにくい側面もあ
 りますが、時代に応じた販売形
 態も検討して行く必要がある
 と思います。」

最後に辻さんはこう語る。「フ

ファーストシリーズでは、環境に
 優しい家具という面も考慮を
 払ってきました。今年七月から
 は、建築の基準がさらに厳しく
 なり、ホルムアルデヒドを言ん
 だ材に関して規制が厳しくな
 ります。それをセカンドシリー
 ズに即応させるのはもちろん
 ですけど、それ以上にやはり
 消費者や環境に優しいものを
 届けたいという思いで、製品作
 りに取り組み続けたいですね。」
 明るい、統一感のあるトータ
 ル家具、しかも環境に優しい。
 ジーネットは歩み始めて間も
 ないが、今後ますます快適な製
 品を届けてもらいたい。

